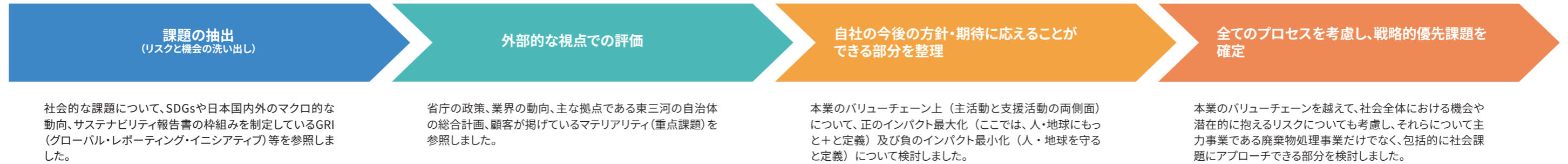


戦略的優先課題の決定プロセス



主活動(主に企業において価値を提供する部分)

		※社会 (ゴミの発生源含む)	収集・運搬	中間処理	リサイクル
人・地球にもっと+	適正処理 資源循環			・廃棄物(産業・医療系等)の適正処理	・リサイクル率の向上
	脱炭素	・再エネの普及促進			
	地球共生	・コミュニティへの参画 ・海外とのつながり			
	自然共生	・生物多様性の尊重 ・緑化推進			
	労働環境改善	・ステークホルダーの働きやすさ改善			
人・地球を守る	脱炭素			・二酸化炭素排出量の削減	
	地球共生	・地域美化 ・防災拠点機能 ・持続可能な教育			
	自然共生			・水使用量の削減(リサイクル)	
	労働環境改善		・交通事故の抑制		
	コンプライアンス遵守			・地域への汚染予防	

支援活動(バリューチェーンの主活動の基盤となる部分)

		調達活動	技術開発	人的資源確保	企業インフラ
人・地球にもっと+	適正処理 資源循環		・処理困難物のリサイクルの処理方法確立		
	労働環境改善			・健康経営の促進 ・ワーク・ライフ・バランスの整備 ・社員の成長	・DXの推進
人・地球を守る	脱炭素	・グリーン購入の促進による二酸化炭素削減活動 ・再エネ調達の推進による脱炭素促進			
	労働環境改善			・労働安全の確立	
	コンプライアンス遵守			・労働安全の確立 ・法制度の遵守	・セキュリティ強化

▶ 定義

人・地球を守る:『SDG Compass』で示されているエントリーポイントA「人・環境へのリスクを最小化」することを「人・地球を守る」活動と定義しました。

人・地球にもっと+:同様にエントリーポイントB「有益な製品・サービス・投資によって自分の会社が最も貢献できる」ことを「人・地球にもっと+」な活動と定義しました。

※弊社の廃棄物の適正処理・リサイクルにおける本来のバリューチェーンに加え、廃棄物が発生する「社会」についても弊社独自で検討しました。ここでは社会を主語として、社会にとって求められる「人・地球を守る」活動ならびに「人・地球にもっと+」な活動を抽出しました。